

千葉大学医学部附属病院で心エコー検査を施行された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年5月31日

循環器内科

循環器内科では、心エコー（心臓超音波）検査を用いた患者個別循環モデルの確立と臨床応用に関する研究を行っており、以下に示す方の心臓超音波検査データや診療情報を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2023年1月1日～2025年12月31日の間に心エコー検査を施行され

1. 心不全もしくは心不全疑いと診断された方
2. 正常と診断された方（比較対象とさせていただきます）

1. 研究課題名

「心臓超音波検査を用いた患者個別循環モデルの確立と臨床応用」

2. 研究期間

2026年承認日～2028年3月31日

この研究は、千葉大学附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

心不全治療では、患者ごとに異なる心臓の状態を正確に把握することが重要です。通常、詳しい評価にはカテーテル等の体に負担がかかる検査が必要ですが、本研究では「心エコー（超音波）検査」の結果とコンピュータ上の「計算モデル」を組み合わせ、体に優しく精密な診断を行う仕組みの開発を目的としています。さらにAI（人工知能）を用いて、お一人おひとりに最適な薬の選択や将来の予測を行い、より効果的な治療の実現を目指します。そのため、2023年1月1日から2025年12月31日までの診療情報を収集して研究利用します。

4. 研究に用いる情報の種類

経胸壁心臓超音波検査データ

診療録に記載されている身長、体重、病歴、採血などの各種検査データ、投薬を含めた治療内容等

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：循環器内科 診療准教授 高岡 浩之

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院循環器内科および各研究機関において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。

情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

循環器内科 診療准教授 高岡浩之

043（222）7171 内線 73124